普及センター もりおか 11月

インターネットでオールカラーの記事が読めるよ！

いわてアグリベンチャーネット 普及センターもりおか 検索

第１６１号平成２７年１０月２６日発行

盛岡農業改良普及センター
盛岡市内丸１１－１ 盛岡地区合同庁舎
TEL 019-629-6726　FAX 019-629-6739

１１月から普及センターでの土壌診断受付が始まります！

土壌分析は、**全農土壌分析センター**と**盛岡農林実験室**の２か所で行っていますが、**農業者によって申し込み先と受付期間が異なるので注意してください！！ 冬期間は分析が集中し、結果の返却に時間がかかりますので、早めに申し込みをお願いします！**

≪土壌診断の申し込み先・受付期間≫

	JA の生産部会員	JA の生産部会員**以外**の農業者
受付期間	受付中～**12 月 25 日(金)**	**11 月 2 日(火)～1 月 29 日(金)** ※分析の開始は 12 月からになります
分析機関	全農土壌分析センター	盛岡農林実験室
申し込み先	各農協の営農センター	農業改良普及センター

≪土壌の採取方法≫

①ほ場の５か所から取り（図 1）、混ぜたものを１つとします。

②土を取るときは、表面の土をよけ、その下の 15 ㎝程度までの深さの土を目安に取りましょう（図 2）。

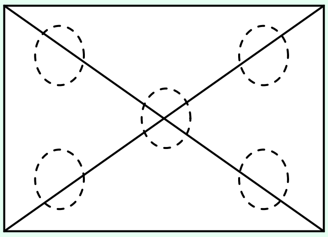

図 1.土壌の採取地点

≪採取土壌の調整・提出方法≫

①採取した土壌を新聞紙に広げて乾かします。

②ふるいにかけるなどして、根やゴミなどを土から取り除いてください。

③乾かした状態でお茶碗 1 杯分(200～300g)をビニール袋に詰めて、名前・ほ場名(No.)・市町村名・作物名（前作・予定作）を記入したものをビニールに貼りつけ、申し込み先に提出してください。

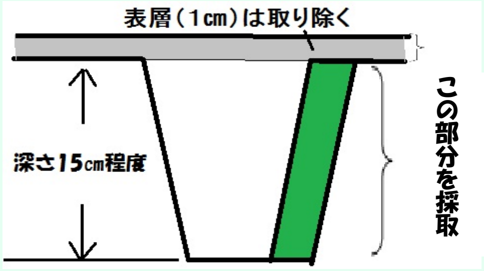

図 2.土壌の採取部分

≪結果の返却≫

土壌診断結果は、申し込みの機関を通じて返却されます。

普及センター
チーム紹介

作物振興チーム

作物振興チームでは、米・麦・大豆経営の強化を図るため、指導会による栽培指導はもちろんのこと、病害虫の発生予察や生育状況の情報提供を目的とした生育診断圃を設置するなど、単収および１等比率の向上のための支援をしています。また、水稲では、省力・低コスト技術である直播(ちょくは)栽培の指導や優良な種子の安定生産のため、病害発生調査や、適期刈取りの指導等も行っています。

「実証ほ」の紹介

水稲新品種「岩手107号」現地適応性実証

目的

当地域での生育特性を把握し、最適な栽培方法を確立することにより、新品種の早期普及拡大を図る。

実証内容

・「岩手 107 号」モデル圃場を管内３か所（玉山・雫石・紫波）に設置し、生育・収量・玄米品質等の各種調査を実施中。
（現在、調査成績取りまとめ中。）

図１：「岩手１０７号」９月上旬の様子

参考情報

1　水稲新品種「岩手 107 号」
・県では「あきたこまち」に替わる品種として岩手 107 号を開発。平成 27 年３月に県の奨励品種に採用。

2　「岩手 107 号」の特徴
・「あきたこまち」より、食味、収量性等に優れ、耐冷性やいもち病に強く倒伏しにくい。

3　県内適地への普及拡大
・栽培適地：盛岡市（玉山区含む）以南から北上市以北の標高 240m以下平坦部、および宮古市以南の沿岸部標高 100m以下の 20,000ha。
・平成 28 年度には 100ha で一般栽培を開始する予定。

4　「岩手 107 号」の名称決定について
・７月に名称公募を実施し、8,168 点の応募があった。
・8月上旬に１次選考で 106 点が選ばれ、８月下旬に２次選考で 12 点に絞られた。
・11 月下旬に名称発表が予定されており、現在、最終調整中。

図２：「岩手１０７号」の稲株
左：岩手１０７号
右：あきたこまち